

# 建設 CAD サーバー・クライアントインストールの手順

建設CADの新規サーバーインストールの手順について解説します。

新規インストールは、右図の流れでおこないます。

まずサーバーとなるコンピュータに、クライアントから操作できる共有フォルダーを作成し、そこにサーバーインストールします。

次にクライアントコンピュータから、サーバーにインストールされたセットアッププログラムを実行し、クライアントへEX-TREND武蔵をインストールします。

## — インストールの流れ —

1. 共有フォルダーの作成 (サーバー)



2. サーバーインストール (サーバー)



3. クライアントインストール (クライアント)

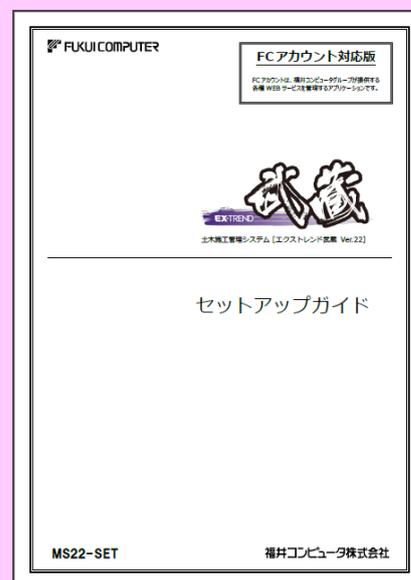
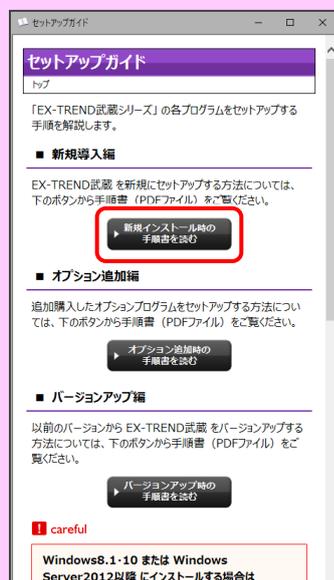
クライアントコンピュータの建設CADの設定ファイルは、サーバーに保存されて、各クライアントから共有されます。建設CAD以外のプログラム(「インデックス」や「写真管理」など)の設定ファイルは、各クライアントで管理されます。

### 注意 セットアップ時の権限について

サーバーおよびクライアントへのセットアップには、Administratorsグループに所属しているユーザーや、「コンピューターの管理者」のユーザーでログオンする必要があります。

### 注意 本書では、サーバー・クライアントインストールの手順のみ解説します

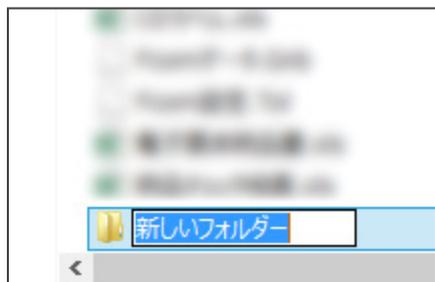
プログラムを使用するためには、「ネット認証ライセンスのプログラム ID 認証」や「FC アカウントの登録」が必要です。手順については、セットアップガイドの「新規導入編」を参照してください。



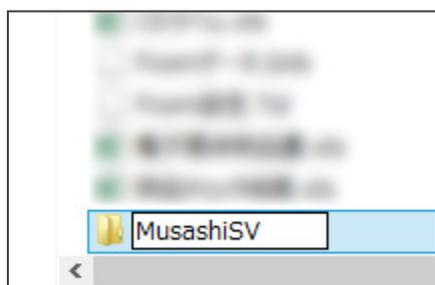
# 1. 共有フォルダーの作成 (サーバー)

サーバーとなるコンピュータに、サーバーインストール先になる共有フォルダーを作成します。

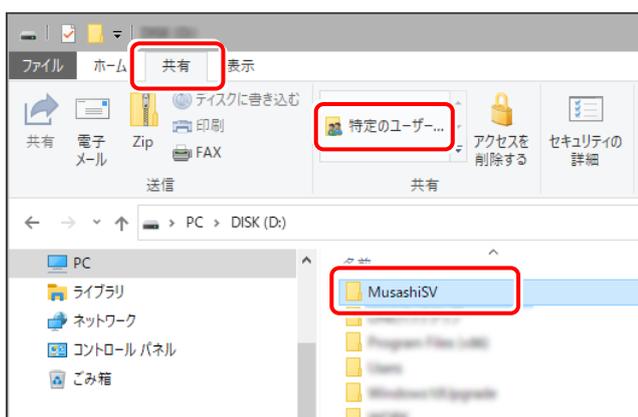
1. サーバーとなるコンピュータで、フォルダーを新規作成します。



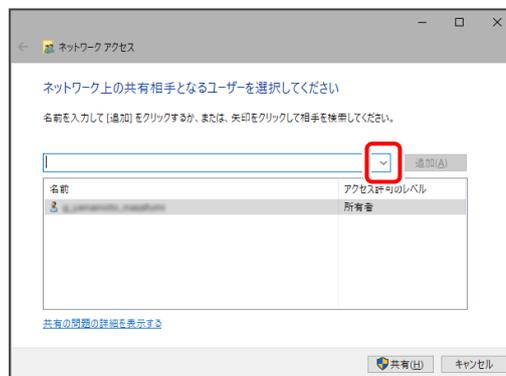
2. 作成したフォルダーの名称を入力します。(本書では、「MusashiSV」とします。)



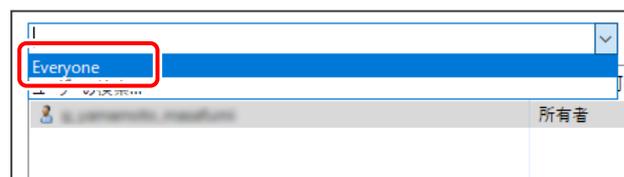
3. 作成したフォルダーを選択して、[共有]—[特定のユーザー]コマンドを実行します



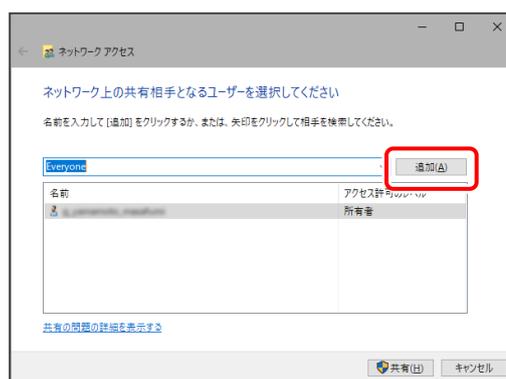
4. 上の[▼]ボタンを押します。



5. 表示されるリストで、「Everyone」を選択します。



6. [追加] ボタンを押します。



(次ページへ続く)

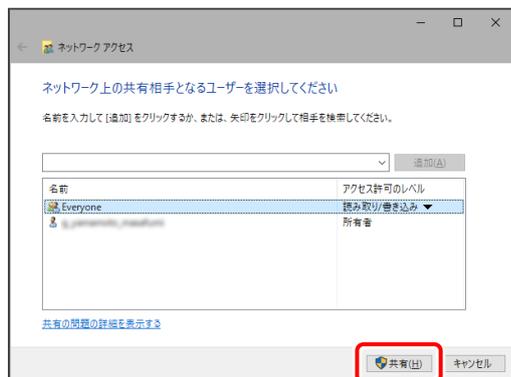
7. 下のリストに「Everyone」が追加されます。  
「Everyone」の[アクセス許可のレベル]をクリックします。



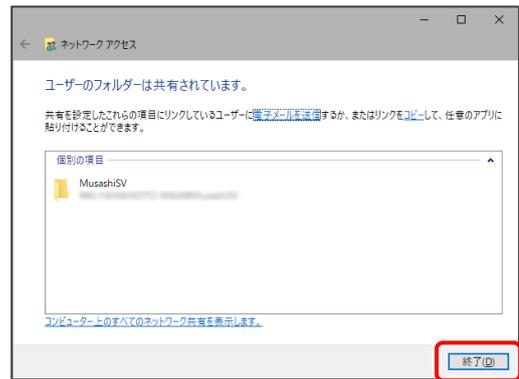
8. 表示されるリストで、「読み取り/書き込み」を選択します。



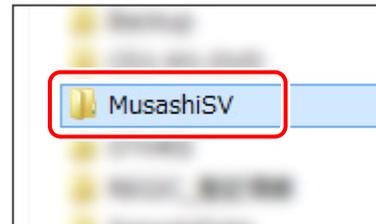
9. [共有]ボタンを押します。



10. [終了]ボタンを押します。



11. 共有フォルダーが作成されます。



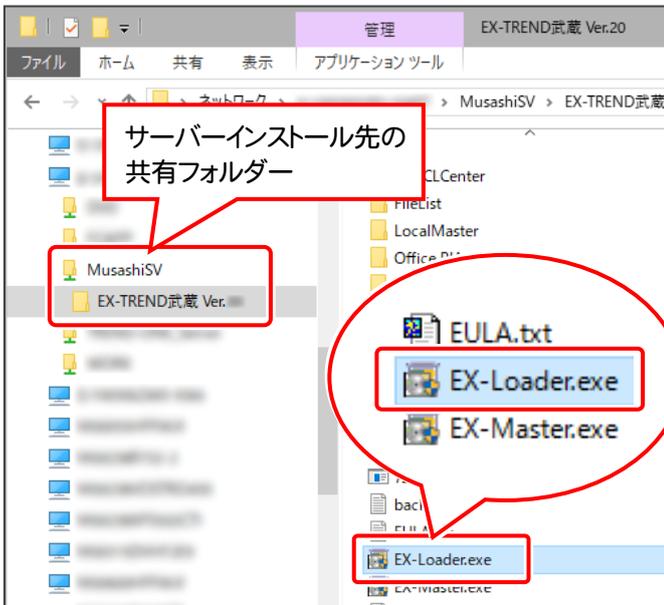
共有フォルダーの作成は完了です。  
続いて次ページ「2. サーバーインストール」に進みます。



### 3. クライアントインストール (クライアント)

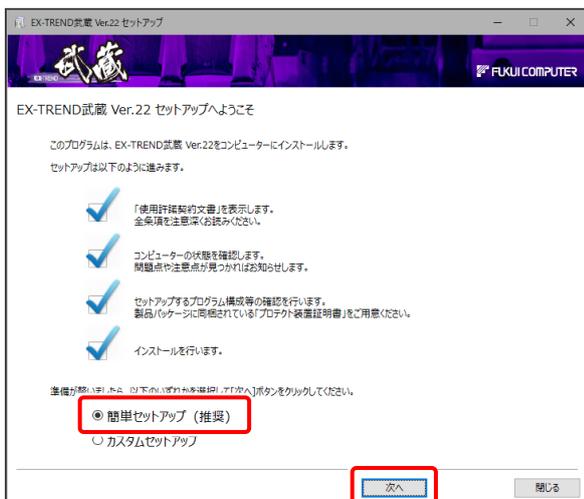
EX-TREND武蔵を、サーバーからクライアントに新規インストールします。

1. クライアントコンピューターから、サーバーインストール先の共有フォルダーの「EX-Loader.exe」を実行します。

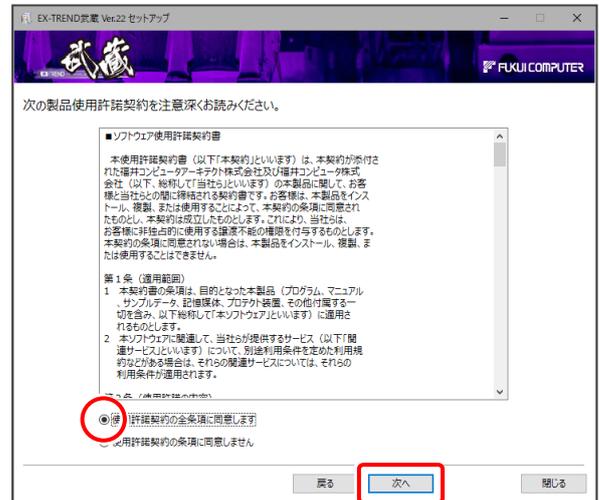


※ USBプロテクトを使用する方は、まだコンピューターにプロテクトを装着しないでください。

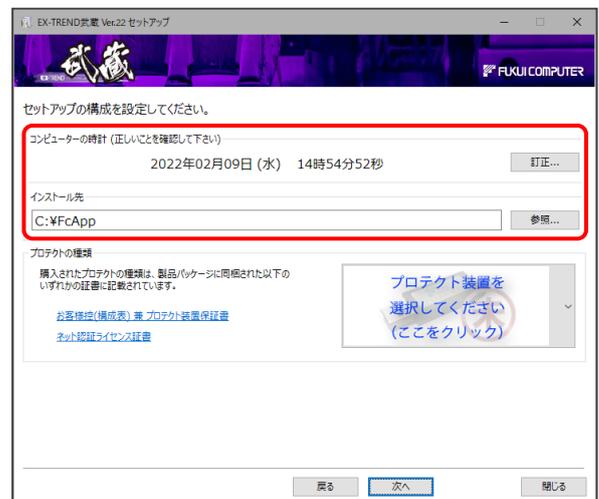
2. 表示される画面に従って、インストールします。  
[簡単セットアップ(推奨)]を選択します。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



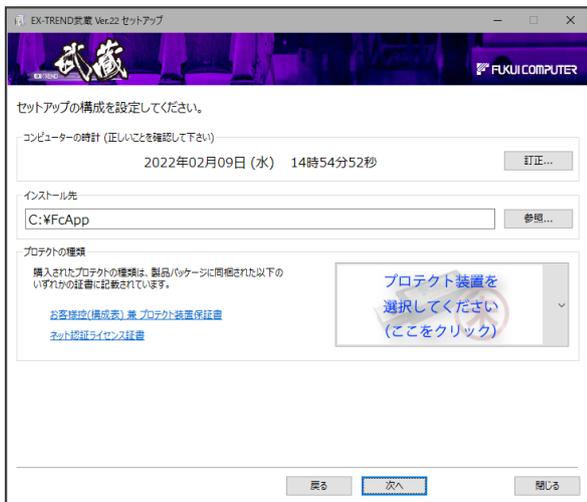
コンピューターの時計と、インストール先のフォルダーを確認します。必要があれば変更します。



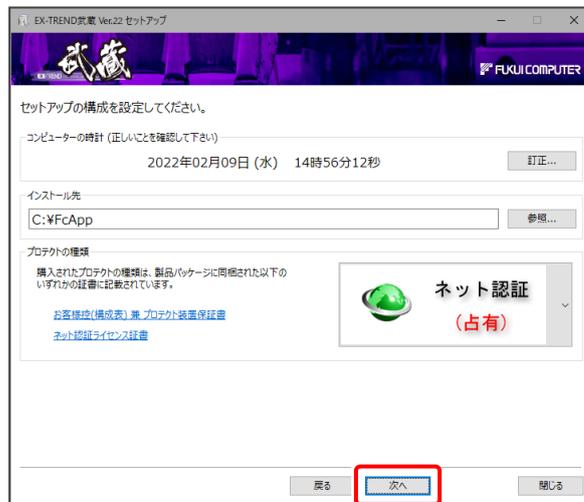
※ コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

(次ページへ続く)

[プロテクト装置を選択してください]をクリックします。



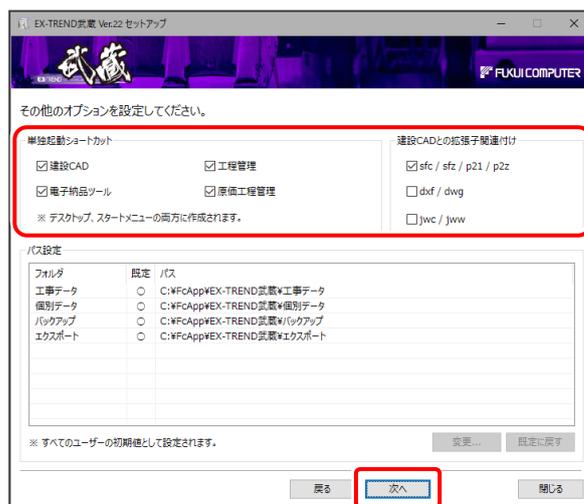
内容を確認して、[次へ]を押します。



使用するプロテクトの種類を、一覧から選択します。



その他のオプションを設定し、[次へ]を押します。



※ プロテクトの種類は、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書  
出荷プロテクト ○○○○

※ 単独起動ショートカットを作成すると、「インデックス」プログラムを使用しなくてもプログラムを起動することができます。

※ 「建設CADとの拡張子関連付け」を「オン」にした図面ファイルは、ダブルクリックすると「建設CAD」で開くようになります。

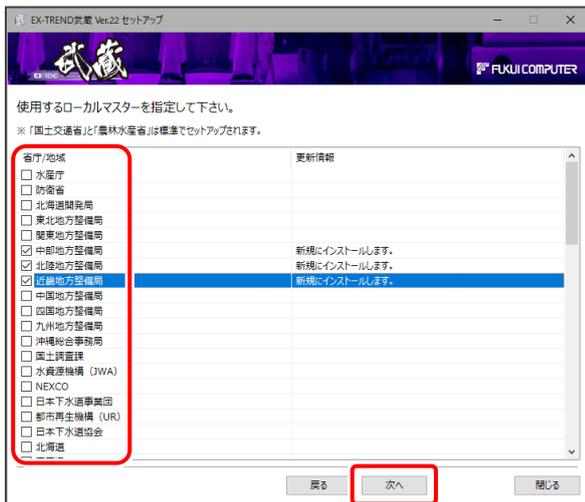
- 単独起動ショートカット：すべてのチェックを「オン」
- 建設CADとの拡張子関連付け：sfc/sfz/p21/p2z を「オン」

でインストールすることをお勧めします。

(次ページへ続く)

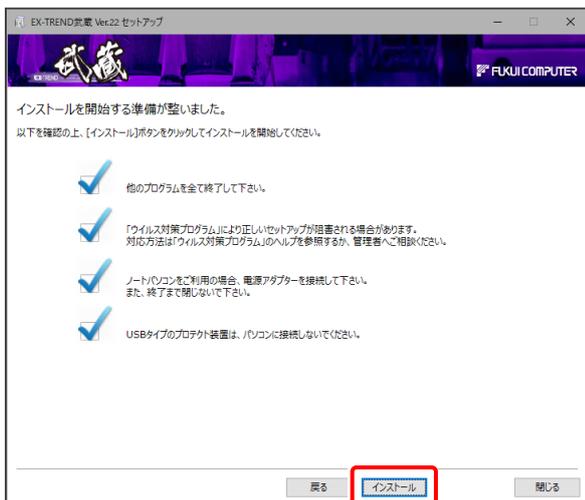
ローカルマスターとは、各省庁や都道府県別に対応した基準案・要領案などの設定ファイルです。受注する可能性のある、省庁や地域のチェックボックスをオンにします。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



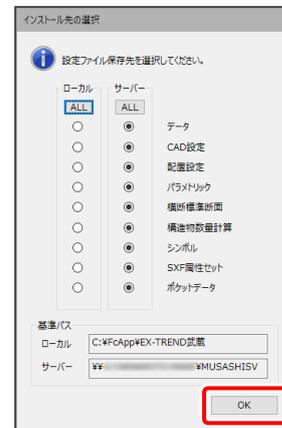
内容を確認して、[インストール]を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



建設CADのデータや設定ファイルについて、

- ・ ローカル(クライアント)で管理するファイル
  - ・ サーバーで管理するファイル
- を設定し、[OK]を押します。

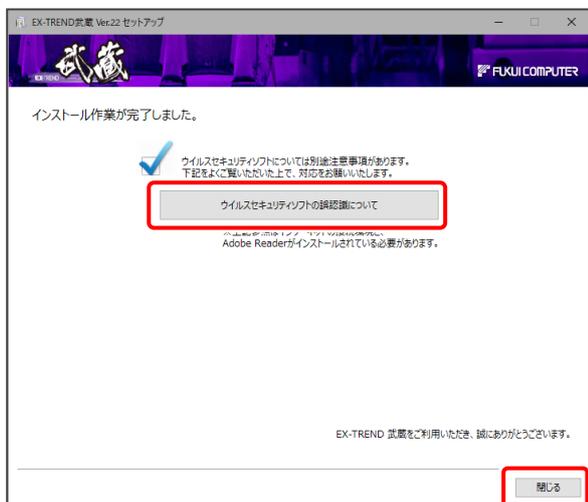


(次ページへ続く)



インストールを終えたら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認して、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



### ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、EX-TREND 武蔵が正常に動作しない場合があります。

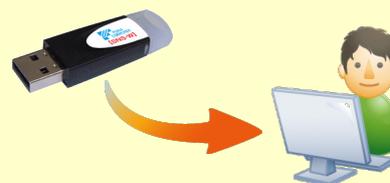
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[\[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について\]](#)ボタンから表示される資料を参考にしてください。

### USBプロテクト【SNS-W】を使用する場合は

プログラムのインストールが終わったら、コンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが使用可能になります。



以上で 建設CADのサーバー・クライアントインストール は完了です。